

平成26年度 事業報告

平成26年4月1日から平成27年3月31日まで

【基本方針】

森林・緑の持つ多様な機能を持続的に発揮させるために県内においても県民やボランティア団体、事業者などの民間団体等を中心に緑化活動や森林づくりなどの自発的な活動への関心が高まっている。

このため、平成26年度事業においては、県民の緑化活動への理解を深めるため、イベント、パンフレット、ラジオ、新聞による普及啓発に努めた。

また、県をはじめとする関係機関や団体と連携をとりながら森林ボランティア活動を支援し、県民協働のもとに広葉樹を中心とする山間地の森林づくりや、平坦地の緑化を推進した。

緑の募金運動の展開に当たっては、地区推進協議会及び市町緑化推進協議会と連携を図り、県民を始め森林ボランティア団体、緑の少年団等広範な県民の協力を得ながら多様な募金活動を展開した。

【会議等】

1 理事会

(1) 第1回通常理事会

平成26年5月12日（月）佐賀県庁正庁において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

議 題

第1号議案 緑の募金運営協議会委員の改選について

第2号議案 理事の改選について

第3号議案 評議員の選任について

第4号議案 平成25年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算及び財産目録について

第5号議案 平成26年度定時評議員会の招集及び提出議案について

報告事項

① 役員の職務の執行状況について

(2) 第2回通常理事会

平成27年2月12日（金）佐賀県庁新行政棟61号会議室において開催し、下記議案について審議の結果、原案のとおり承認された。

議 題

第 1 号議案 美しい緑の郷土づくり県民運動地区推進協議会の存続について

第 2 号議案 基本財産の処分及び取得について

第 3 号議案 平成 2 6 年度収支補正予算について

第 4 号議案 平成 2 7 年度事業計画及び平成 2 7 年度収支予算について

報告事項

① 役員の職務執行状況について

(3) 臨時理事会（書面による決議）

通常理事会の他、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 197 条において準用する同法第 96 条及び定款第 39 条第 2 項の規定に基づく書面決議を次のとおり開催し、理事全員の同意及び監事全員の確認を得て承認された。

① 平成 2 6 年 6 月 4 日（水）

理事長及び常務理事の選定並びに事務局長の承認について

② 平成 2 6 年 7 月 1 4 日（月）

さが緑の募金運営協議会委員 2 名の選任について

2 評議員会

(1) 定時評議員会

平成 2 6 年 6 月 4 日（水）佐賀県庁新行政棟ミーティングルームにおいて開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

決議事項

第 1 号議案 平成 2 5 年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録について

第 2 号議案 理事の選任について

第 3 号議案 評議員の選任について

報告事項

① 平成 2 5 年度事業報告について

② 平成 2 6 年度事業計画及び収支予算について

(2) 臨時評議員会（書面による決議）

定時評議員会の他、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条及び定款第 23 条の規定に基づく書面決議を次のとおり開催し、評議員全員の同意を得て承認された。

① 平成 2 7 年 2 月 2 0 日（金）

基本財産の処分及び取得について

3 緑の募金運営協議会

(1) 第1回運営協議会

平成26年7月14日(木) 県庁新行政棟入札室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

決議事項 運営協議会委員長の選出について

報告事項

- ① 平成25年度緑の募金事業報告及び収支決算について
- ② 平成25年度緑の基金助成事業実地検査の結果について

審査案件

平成26年度緑の募金助成事業及び提案公募型緑づくり活動支援事業の採択について

(2) 第2回運営協議会

平成27年3月12日(水) 県庁新行政棟特別会議室において開催し、下記議案について審議の結果原案のとおり承認された。

議 題

- ① さが緑の基金助成事業実施要領の制定について
- ② 平成26年度緑の募金事業収支補正予算について
- ③ 平成27年度緑の募金事業計画及び収支予算について

【 公益事業1 (一般事業) 】

一般事業では、基本財産の運用収入、(公社)国土緑化推進機構等の助成金及び受取寄附金(緑化普及積立資産)等を財源として、以下の主要な事業を実施した。

1 緑の普及啓発事業

[決算額 9,762 千円]

(1) 普及啓発

[決算額 7,975 千円]

- ① 県民の緑化意識の高揚と県民参加の緑化運動を推進するため、ラジオ、新聞による情報発信を行った。緑あふれた地域づくりの気運の醸成を図るため、苗木などの普及資材を配布するとともに、緑化関係行事等に参加した。
- ② 森林・緑に対する理解を深めるとともに緑化意識の高揚を図るため、学校関係者及び市町教育委員会などの協力を得て、(公社)国土緑化推進機構と連携し小・中学校、高等学校の児童、生徒や一般県民を対象に標語の募集を行い優秀者には知事賞を授与するとともに、当法人のホームページ

で公表し意識の高揚に努めた。また、優秀作品は国土緑化運動の審査会に推薦した。

- ③ 県民が緑とふれあい、うるおいと安らぎのある緑豊かな環境を促進するため、県民から寄せられた様々な相談に応ずるとともに、植樹活動に対する助言・指導を行った。
- ④ 県内の小・中学校等からの要請を受け、学校や脊振山などの現地で森林環境教育を行った。
- ⑤ 県内の森林ボランティア活動に必要な作業用具の維持管理、用具の貸出及び使用方法などの指導を行った。
- ⑥ 森の名手・名人100人の推薦、認定書の伝達
 (公社)国土緑化推進機構が行う「もりの国・日本運動」の「森の名手・名人(加工部門)」として「原 二三夫(唐津市)」を推薦し選定され認定書の伝達を行った。

○ 参加した主な緑化関係行事等

行 事 名	実施年月日	開催場所
第65回全国植樹祭	平成26年6月1日	新潟県長岡市 (ハイブ長岡)
全国緑の少年団活動発表大会	平成26年10月11日	山形県鮭川村(鮭川村農村交流センター)
第38回全国育樹祭	平成26年10月12日	山形県金山町(遊学の森)
九州北部三県みんなの森林づくり	平成26年11月9日	佐賀市富士町 (21世紀県民の森)

(2) 新1年生記念樹配布 [決算額 274 千円]

新しく新1年生として入学する子供たちに、緑を育み大切にする心を育てるため、市町教育委員会と連携し、県下の小学校や特別支援学校等のうち希望する小学校74校にヤマザクラやコブシなど15種108本の記念樹を配布した。

(3) よかウッドフェスタ及び緑化祭 [決算額 1,513 千円]

森林・緑は県民共通の財産として社会全体で守り育て、未来に引き継いでいくという意識を醸成し、県民協働による豊かな広葉樹の森林づくりを進めるため、前年度に引き続き、木材や木工工作などとのふれあいや森林づくり

の体験活動を通じて、県産木材の良さやその利用の意義についての理解の推進や、かけがえのない財産である森林・緑を県民みんなの財産として社会全体で守り育て、未来に引き継ぐという意識の醸成を図ることを目的に、佐賀県との共催により「どん³の森・アバンセ」を会場に「よかウッドフェスタ及び緑化祭」を開催した。

主な開催行事として、

- ・ 緑化功労者（団体、個人）や優良緑の少年団の表彰及び森の名手・名人認定証の伝達
- ・ 緑の少年団108名によるソメイヨシノ8本及びシモツケ75本の植樹や緑の少年団活動発表大会
- ・ 併催イベントとして、地元の郷土芸能の披露・餅投げ、チェーンソーアートや木の実工作やふれあい木工工作などの森に関係した多彩な催しや住宅相談会

などを行い、約1千人の参加者に森の恵みを活用したイベントで楽しんでもらうとともに緑化の推進を図った。

2 提案公募型緑づくり活動支援事業

[決算額 2,969 千円]

C S O等から企画提案された特色ある森林づくり(地域に密着した様々な夢のある森林づくり等)や平坦地の緑化事業、県産材の利用促進事業など企画提案された9事業のうち8事業を採択支援した。

- ・ 里山や平坦地に広葉樹等を植栽し、潤いのある景観づくりなどを目指す伊万里市浦川内地区ほか2市3地区の住民等の取組
- ・ 県産間伐材を利用した木製椅子を作成し、公共施設に設置することにより、県民に安らぎと潤いを与える取組
- ・ 21世紀県民の森「森林学習館」周辺の森内で、樹木を楽しく観察するための樹木観察案内看板や樹名板の設置を行うとともに、小中学生の環境教育に資するために、森・川・海が結ばれていることを学ぶための教材づくりへの取り組み
- ・ 黒髪山環境保全町民サポーターを募集し環境保全活動を行い、地域の森林環境整備を高めるとともに、木材の地産地消活動の一環として、植菌講習会及びマイ箸づくりを実施する取り組み
- ・ 地域コミュニティーFMを活用した緑づくりの普及啓発番組の放送や枝打ち及び海苔漉き体験のイベントの取り組み

など魅力ある地域作りに取り組む8団体に助成することにより緑化の推進を図った。

3 緑と水の森林基金助成事業 [決算額 646 千円]

(1) 緑の探検学習会及び緑の少年団活動発表大会 [決算額 609 千円]

緑の少年団の自主性・協調性を養うとともに、自然や緑の大切さを理解し、環境美化や緑化活動に積極的に参加する心を培うため、自然豊かな佐賀市富士町の北山東部小学校において「緑の少年団探検学習会」及び「緑の少年団活動発表大会」を開催した。

○ 緑の少年団探検学習会及び緑の少年団活動発表大会

日 時：平成26年8月8日（木）

会 場：佐賀市立北山東部小学校

参加者：緑の少年団、指導者、県市、事務局 計321名

行 事：活動発表大会(地区代表4団体)最優秀賞1団体、優秀賞1団体

講 話：「雷に備える（佐賀地方気象台 新出防災指導係長ほか）」

その他：木の実博士クイズやアートクラフト体験

(2) ふるさと記念の森管理事業 [決算額 37 千円]

21世紀県民の森に県にゆかりのある人々や一般県民が植樹した「ふるさと記念の森」の管理の一環として記念樹の枯れ木等の調査を行った。

この他、21世紀県民の森来訪者への周知促進を図るため、記念の森内に案内看板を21世紀県民の森総合案内所内に記念植樹者一覧の看板を設置した。

4 国土緑化推進機構受託事業 [決算額 10 千円]

国土緑化推進機構からの受託事業として、森の名手・名人、学校環境緑化モデル事業などの募集・推薦を行った。

5 事業推進事務費 [決算額 2,185 千円]

【公益事業2（緑の募金事業）】

県民総参加による「緑の募金」運動を展開し、市町緑化推進協議会、ボランティア団体、緑の少年団等の協力により家庭募金、企業募金、学校募金、街頭募金を実施した。募金目標額は前年度と同額の63,000,000円としたところであるが、家庭募金や企業募金、職場募金などで目標額を下回ったことから目標額は達成することが出来なかった

○ 募金実績額：59,095,777円（約3,900千円6.2%の減）

○ 運動期間 春：平成26年3月1日～ 5月31日

秋：平成26年9月1日～10月31日

1 緑の少年団等育成事業 [決算額4,432千円]

(1) 活動・交流支援 [決算額4,132千円]

緑を守り育てる心を養うことを目的に、年間を通じて様々な緑化活動を行っている緑の少年団46団に対し、日常の活動費や緑の少年団制服の購入への助成を行なった。

また、県内3地区で地域住民や子供達の交流を促進し、地域の特性を生かした多様な緑化活動を行った。

① 佐賀中部・鳥栖地区

期 日：12月14日

実施場所：佐賀市大和町 佐賀県林業試験場平成子ども記念の森

参加者：88名

行事内容：林業試験場内平成子ども記念の森内に植樹されている300種類以上の樹木の観察（常緑樹と落葉樹の種類数調査）や幹周りの調査を行うほか、日本国内での常緑樹と落葉樹の分布状況などから地球温暖化の進行状況の学習を行うとともに、木の実の干支（羊）づくりを通し地区内の少年団相互の交流を図った。

② 武雄・鹿島地区

期 日：3月8日

実施場所：武雄市 黒髪山少年自然の家

参加者：77名

行事内容：黒髪山少年自然の家内の樹木の観察（常緑樹と落葉樹の種類数調査）や幹周りの調査を行うほか、日本国内での常緑樹と落葉樹の分布状況などから地球温暖化の進行状況の学習を行うとともに、バードコールづくりを通し地区内の少年団相互の交流を図った。

③ 唐津・伊万里地区

期 日：11月30日

実施場所：唐津市 虹の松原・東唐津公民館

参加者：95名

行事内容：虹の松原の歴史と人の暮らしの変化が与える影響や保全活動の取り組み内容についての学習と保全活動や松ぼっくりに関する学習を行った後に、松ぼっくりと木の実を使った工作づくりにより地区内の少年団相互の交流を図った。

(2) 佐賀県緑の少年団連絡協議会助成 [決算額 300 千円]

県内の緑の少年団の育成及び交流事業や7月に開催した少年団指導者の研修事業等に要する運営活動経費を助成し県内の緑の少年団の健全な育成、強化及び指導者の育成を図った。

2 緑化ボランティアの育成事業 [決算額 444 千円]

(1) 森林づくりボランティア団体等育成活動支援 [決算額 444 千円]

① 近年、活動が活発になってきた「森林づくりボランティア」は、県内26団体が登録しており、このうち申請のあった6団体の活動に要する経費に助成した。

② 森林ボランティア団体の育成、活動を広げるために、森林ボランティアリーダーを育成する研修を実施した。

期 日：1月12日

場 所：唐津市 虹の松原・東唐津公民館

参加者：親林交流指導員及びボランティアリーダー20名

テーマ：虹の松原の歴史と現況、保全活動（松葉掻き）の実施研修及び県内各地の自然や動植物や森と海の生き物つながり、外来種の影響についての講話

講 師：NPO法人唐津環境防災推進機構事務局長 藤田 和歌子
環境省希少野生動植物種保存推進員 吉田 喜美明

(2) 親林交流指導員の派遣

学校や公民館等で開催される環境教育、自然観察会など要請のあった学校、公民館等に対し基金に登録している親林交流指導員延べ6名を派遣し緑化の普及を図った。

なお、今年度の派遣については、当基金緑化相談室の職員が親林交流指導員として従事したことから、謝金等の支出は行わなかった。

対 象：保育園、公民館など 6ヶ所

対象者：小学生・保護者、一般県民など 延べ836名

3 こだまの森林・緑づくり事業 [決算額 10,785 千円]

(1) 緑の県土づくり活動支援 [決算額 7,400 千円]

- ① 地域のボランティアを中心に、広く参加者を募るなどして行う「シンボルの森、水源の森、海の森」などの森林づくりを行った6協議会14団体、また平坦地、里山などにおける緑づくり（植栽、下刈り、間伐）を行い地域の環境整備を行った5協議会8団体に対し助成することにより緑化の促進を図った。
- ② 県各地域で活動している「緑化・美化ボランティア」の登録団体（119団体）のうち申請のあった7市35団体に対し、資材購入費等を助成することにより緑化の促進を図った。（1団体20千円以内）

(2) 民間団体等の緑化支援 [決算額 3,185 千円]

嘉瀬川ダム周辺の山林約0.5ha内で除伐や和シャクナゲ200本の植樹を行いダム周辺の景観と癒しの空間作りを行った富士町林業研究会、巖木川に隣接する荒廃した森林内で除伐や遊歩道づくり及び山桜など285本の植樹を行うことで水辺の交流の場の創設を図った巖木町中島区、並びに佐志浜埋立地内の多目的グラウンドにサクラ35本を植樹し地域の交流の場の創設を図った唐津市佐志校区の取組に助成することにより緑化の促進を図った。

(3) 国際緑化 [決算額 200 千円]

オイスカ佐賀県推進協議会が平成25年11月のスーパー台風により被害を受けたフィリピン・レイテ島・タクロバン地区内において、台風により吹き飛ばされた防風林の跡地にマホガニーなど4種1000本を植樹し、現地の復興支援と緑化の促進に寄与した事業に対し、助成を行うことにより国際緑化の促進を図った。

4 市町緑化の推進事業 [決算額 31,520 千円]

- ① 市町推進協議会がイベント等を通じて行った募金活動や植樹祭、各種行事での苗木等の配布や、ポスター、チラシ等普及啓発事業に助成を行うことにより緑化の促進を図った。
- ② 県内19市町の市町推進協議会や自治会等が行った地域の公園、街路、学校、公民館、社会福祉施設等公共的施設などの地域の緑化に対し助成を行うとともに県内の名木、古木の治療を行い保存維持に努めた事業に対し助成することにより緑化の促進を図った。

5 募金活動の推進事業 [決算額 4,489 千円]

緑の募金の周知徹底を図るため、新聞広告やラジオ、テレビによる広報活動を行うとともに、ポスター、チラシの作成・配布等による普及啓発活動を行った。

また、官庁、企業等で職場募金として行う募金活動に必要な資材を購入し募金の拡大に努めた。

6 国土緑化推進機構交付金 [決算額 3,531 千円]

全国的な見地から行う森林の整備、緑化の推進及びこれらに係る国際協力並びに東日本大震災復興のための緑化事業を進めるため、(公社)国土緑化推進機構に対し、募金額に応じて交付金を交付した。

交付金=定額割額(500 千円)+定率割額(当該年(暦年)の募金実績(千円)×5%)

※平成24年度より3%から5%に変更(2%は東日本大震災復興事業分)

7 事業推進事務費 [決算額 5,466 千円]